

防災歳時記 (33)

—秋葉山から火事—

NHK 放送用語委員会専門委員

元 気象庁天気相談所長

宮澤 清 治

秋葉山から火事

いまから 10 年ほど前に NHK 放送文化研究所が、東京から 100 キロメートル圏内に住む 16 歳以上の男女 1,800 人を対象に、次のようなアンケート調査をした。

問 次のことわざで、見たり聞いたりしたものがありますか。あれば、いつでもあげてください(複数回答)。

答 20 例のことわざを挙げたうち、知悉度は次のとおりであった。主なものは

石の上にも三年(95%)

馬の耳に念仏(95%)

嘘も方便(94%)

転ばぬ先の杖(90%)

一中略一

維(きじ)も鳴かずば打たれまい(56%)

紺屋(こうや)の白袴(53%)

言葉多き者は品少なし(30%)

秋葉山から火事(10%)

ほんの一部を列挙したが、皆さんご存知のことわざはいくつあったでしょうか。

「秋葉山から火事」のことわざを知っている人が、全体の 1 割とは寂しい。というよりも 1 割の人も知っているとはびっくり



写真1 秋葉神社(長野市鶴賀権堂)

した。このことわざは、現代の世の中では死語になっていく運命にある。

このことわざを解説している本は少ないが、次のように書いてある辞典を図書館で見ることができた。

〔秋葉山から火事〕

(火除けの神様を祭る秋葉山〔静岡県西部にある〕から火事が起こるように)ほかの者たちをいましめているにもかかわらず、当の本人のところから過ちが起こることのたとえ

〔用法〕指導的な立場にいる者がみずからその過ちを犯すことをいう。

〔類語〕火消しの家にも火事

成語林一故事ことわざ慣用句、

旺文社、1992 年刊

火事を出すなど、人をさとすべき立場の

者が火事を出すように他人を戒めるべき立場の者が自ら過ちを犯す、というのがこのことわざの意味である。

消防署からの火事、消防団員の放火などがまれにあるが、このような過ちは絶無としたいものである。こんなこともあった。

春の人事異動で、歓送迎会を開いた某県の保健所員が集団食中毒にかかった。保健所長は「皮肉な巡り合わせ」と苦笑したが、これも「秋葉山から火事」の一例である。

防火、防災、予防の仕事にあたる者は、まず自らの足元を点検し、過ちを犯さないように、平常から細心の注意をもって任務にあたる必要がある。これが「秋葉山の火事」の教えである。

秋葉神社

秋葉神社は、静岡県周智郡秋葉山頂(標高866メートル)にある。秋葉の火祭りと呼ぶ、12月15～16日の例祭は名高い。

火防の神として広く信仰を集め、全国に多数の分社がある。

昔、密集した木造家屋に住んでいた江戸庶民は火事をもっとも恐れ、火難除けの秋葉信仰心が強かった。秋葉神社は、江戸城内の紅葉山にも祭られていた。

1869(明治2)年江戸から名前が変わったばかりの東京で、神田相生町の大火が起こった。そこで明治天皇のご下命により、今のJR秋葉原駅付近の原っぱに秋葉神社を移すことになった。

1890(明治23)年、上野―秋葉原間に貨物線が開通したのを契機に、駅名を秋葉神社にちなみ「秋葉原駅」と呼ぶようになった。



写真2 JR秋葉原駅長室の秋葉神社 (1996年当時)

現在、秋葉神社は東京都台東区松が谷に鎮座されているが、その分神はJR秋葉原駅長室に祭ってある。

駅周辺には、電器店が林立し、最先端のエレクトロニクス商品の販売で、その名は「世界の秋葉原」として大勢の外国人でにぎわっている。

ことしは関東大震災が起きてから80周年を迎える。1923(大正12)年9月1日の関東大地震は、日本地震史上に最大の被害をもたらした。東京・横浜を中心に死者・行方不明者14万2千余人を数えた。犠牲者の大部分は広域火災による焼死者であった。

このような尊い犠牲のもと、教訓を少しずつ積み重ねて現代の防災の技術が進歩してきた。しかし、何かひとつ判断を間違えば大惨事になりかねないのが天災の常である。火の用心。